

「プロローグ」…………… 5

「恐怖の世紀」から「智慧の世紀」…………… 6

## 【第二部】…哲学——智慧の学問…………… 13

智をテーマにした学問と宗教…………… 14  
ピロソピアという言葉…………… 17  
前六世紀という時代…………… 18  
哲学の始祖、タレスと  
ヘラクレイトス…………… 19  
変化するものは実在ではない——  
パルメニデス…………… 26  
古代ギリシアの哲学…………… 31  
ピュタゴラスの数の形而上学…………… 35  
数の原理が存在原理…………… 41  
ソクラテス——落日の荘厳…………… 49

ソクラテスの「使命」…………… 54  
デルフォイの神託…………… 55  
「対話」…………… 60  
徳と知の論…………… 67  
生まれる前の「想起」…………… 74  
イデアとロゴス…………… 78  
ダイモニオンの声はイデアの声…………… 84  
ソクラテスからプラトンへ…………… 89  
死の練習…………… 94  
アリストテレスの「形而上学」…………… 102

## 【第二部】…阿含仏教——智慧の宗教…………… 109

ゴータマブツダの智慧…………… 110  
「ミリンダ王の問い」に対する  
ニルヴァーナ…………… 119  
ブツダの「不思議な沈黙」…………… 130  
智慧を得るためのブツダの修行…………… 132  
ウツダカ仙人を訪ねる…………… 138  
苦行に入る…………… 144  
ブツダの「ことり」の内容…………… 155  
縁起の理法…………… 161  
ブツダの智慧の行は、  
二期に分けられる…………… 166

プラトンとニルヴァーナ…………… 170  
ニルヴァーナに到達するための  
智慧の修行…………… 175  
ニルヴァーナの心象風景…………… 186  
智慧の時代にかきわしい  
システムをつくる…………… 192  
頭を直接トレーニングして智慧を磨く…………… 197  
錬成道場…………… 204  
ニルヴァーナに至る  
五つの階梯…………… 205

あとがき…………… 220

付【中国・国立佛学院（仏教大学）講演録】  
阿含宗について…………… 223